

# 救助用資機材等の整備促進による消防団設備の強化

概要: 消防団の災害対応能力の向上のため、消防団が使用する救助用資機材等の充実・強化を図っている。令和6年台風10号では、消防団設備整備費補助金を活用して配備した救助用資機材等を用いた活動を実施した。

対策名: 38 地域防災力の中核を担う消防団に関する対策<5か年加速化対策>【総務省】

- 実施主体: 消防庁、鹿児島県内の消防団 等
- 実施場所: 鹿児島県湧水町、大分県国東市 等
- 事業概要: 災害時における消防団のより効果的な救助活動を図るため、消防団設備整備費補助金を通じて消防団への救助用資機材等の整備を促進。
- 事業費: 約2.5億円(令和5年度)※全国の事業費(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約2.5億円)
- 災害の外力、被害と効果: 令和6年台風10号に伴い、鹿児島県湧水町では倒木等の被害が発生したが、消防団設備整備費補助金により配備したチェーンソー及び切創防止用保護衣等を活用し、通行に支障のある障害物の撤去を効率的に実施することができた。その他、大分県国東市等では、救命胴衣を着用し、団員の安全確保をした上で、トランシーバーを活用し、迅速に避難誘導や浸水防止等のための土のう設置作業が実施されるなど、各地の消防団において災害対応能力の向上に寄与した。



配備した  
チェーンソー

配備した  
切創防止用保護衣等

令和6年台風10号に伴う活動の様子  
鹿児島県湧水町提供

## 補助対象資機材等(例)



※ 切創防止用保護衣等とは、切創防止用保護衣及び耐切創性手袋をいう。